THE NIKKAN KENSETSU TIMES
2026（令和8）年
7月6日（月曜日）
千葉版
昭和41年12月14日 第3種郵便物認可
第16202号
日刊建設タイムズ
©日刊建設タイムズ社2026

「暑熱順化」常に意識

呉光塗装㈱ 安衛協が安全大会

呉光塗装㈱安全衛生協力会（会長＝米畑好博・開成ペインテックス㈱代表取締役）の主催による「2026年度安全大会」が6月29日、柏市内のザ・クレストホテル柏で開かれ、総勢167人が参加。協力会社及び職長に対する安全表彰をはじめ、柏労働基準監督署の中山昌・安全衛生課長による「最近の法改正及び建設業における労働災害防止対策」についての安全講話、同社工事部の野沢佳祐・現場代理人による安全教育「事故報告」のほか、安全衛生協力会の鈴木史彦氏（ナカ・テクノメタル㈱営業統括部長）による「安全パトロール報告」などで構成。日本ペイント㈱、田島ルーフィング㈱、日新工業㈱、大日本塗料㈱、シーカ・ジャパン㈱、エスケー化研㈱、AGCポリマー建材㈱、コニシ㈱、㈱シービーエムが協賛した。（3面に米畑会長あいさつ、安全表彰者など）

奥野・呉光塗装㈱社長

米畑・安衛協会長

自分は大丈夫との思い込み最も危険

開会に先立ち、呉光塗装㈱の奥野仁織社長は、中東情勢による影響について「原材料の価格高騰などにより、私たちの事業にも影響が出てきている」と指摘。加えて、人手不足への対応など「建設業界を取り巻く環境は、以前にも増して厳しくなったと感じる」と述べるとともに「弊社でも材料が足りずに足場がバラせず、着工をずらすなどで四苦八苦した現場があった」と報告。

この状況を打開するために「各現場では材料の確保や施工の進行に工夫を凝らし、現場が止まらぬように最大限の対応を続けている」とし、協力会会員に対して「その点についても安心してもらいたい」と呼びかけた。

今後については「状況は読みづらいところも多いが」と前置きしたうえで「どんな状況下になろうとも、私たちは仕事を途切れさせぬように努め、みなさんと一緒に乗り越えていきたい」と言明した。

柏労基署の中山安衛課長による「安全講話」

鶴見本部長（安衛協事務局長）

一方、昨年6月の改正安衛法の施行により、熱中症対策が罰則付きで義務化されたことに言及。梅雨の時期にある現在でも「熱中症は湿度にも大きく影響されるため、身体を徐々に暑さに慣らしていく暑熱順化を常に意識してもらいたい」とし、注意を喚起した。

他方、自身が毎週末に、小学生たちに屋外でドッヂボールの指導をしていることにも言及。

「少し頑張り過ぎたせいか、5月のある日の指導中に呼吸が苦しくなり、頭がクラクラし、休憩したものの立ち上がれずに、熱中症の一歩手前の症状になった」と報告。

「この実体験を通じてみなさんに伝えたいことは」として奥野社長は「自分ではまだ大丈夫だと思っていても、身体は正直であり、気づかないうちに限界に近づいていたのだと痛感した」とし「『自分は大丈夫だろう』という思い込みが一番危ない』ということである」と強調。

安全大会終了後に呉光塗装㈱全社員で

安全優良協力会社賞の瀬山参事（日建リース工業㈱、左）と阿波社長（ナカ・テクノメタル㈱、右）

安全優良職長賞の（左2人目から）坂入氏（日本ピソー㈱）、堀氏（㈱リフォームジャパン）、木村氏（㈱安藤建装）、山﨑氏（來輝興業）、加瀬氏の代理で岡野氏（㈲カセ防水工業）、鈴木氏（㈱瀬谷塗装工業）

さらに「現場では暑さの中での作業が続く。どうか無理をせず、こまめな水分・塩分補給、休憩の確保に加えて、仲間同士の声掛けを徹底してもらいたい」と要請するとともに「一人ひとりの意識が職場全体の安全に繋がる。作業前の安全確認、基本ルールの順守、仲間同士の声掛けを徹底し、安心して働ける環境をみんなでつくりましょう」と呼びかけ、あいさつを結んだ。

協力会会員が100社 みんなで守る安全

安全大会の最後には、呉光塗装安全衛生協力会事務局長で、同社取締役本部長の鶴見悟志氏が「安全は一人だけで守れるものではない」と指摘。「日頃の声掛け、確認に加えて、報告・連絡・相談（報連相）の積み重ねが無事故に繋がっている」との考えを示した。

そのうえで「現場でいつもお世話になっているのは、各社の職人の方々である」とした鶴見本部長は「会社に戻られた際には、職人一人ひとりに対して、しっかりとした安全教育をお願いできれば、大変嬉しく思う」と述べた。

一方、呉光塗装㈱安全衛生協力会の会員が年々増加し、現在の会員数が100社となったことに言及。「今から14年前、初めて安全大会を開いた時の会員が20社程度だったことを思えば、盛大に安全大会を開くことができることに対して、大変嬉しく感じている」との謝意を示した。

それらを踏まえて「引き続き、みなさんの仕事を確保できるように、受注活動をしっかりと行っていく」とし「今後とも協力をお願いしたい」と呼びかけ、大会を締めくくった。

呉光塗装安衛協力会
協力会社と職長表彰
〈1面参照〉

受賞者を代表して謝辞を述べる瀬山参事（右）と坂入氏

【米畑好博・呉光塗装安全衛生協力会会長あいさつ】

本年4月から、気象庁が正式に定めた予報用語で、気温40℃以上の日を「酷暑日」と呼ぶ。会員各位には、こまめな水分・塩分補給に加えて、空調服の着用を徹底することで、この夏は呉光塗装における「熱中症ゼロ」を目指していきたいと考える。

空調服の着用徹底 熱中症ゼロ目指す

呉光塗装㈱の奥野社長の話にもあったように、中東情勢の影響により、塗料や建築資材の納期の遅れなど、みなさんも大変な思いをされているかと思う。協力会と呉光塗装とメーカーとがしっかりと情報を共有し、お互いに助け合いながら現場を進めていきたい。

安全はすべてに優先する。今こそ、この協力会の団結が必要だと考えている。本日の安全大会が、実りのある一日となるように祈念する。

野沢・現場代理人による安全教育「事故報告」

【安全表彰】

安全大会では、安全優良協力会社賞として2社、安全優良職長賞として6人を表彰。

安全優良協力会社を代表して日建リース工業㈱の瀬山伸二参事、安全優良職長を代表して日本ピソー㈱の坂入寛朗氏が、それぞれ謝辞を述べた。

〈安全優良協力会社賞〉

無事故無災害を達成するとともに、積極的な安全意識の高揚を図り、作業員の安全と健康の確保に尽力した。

○日建リース工業㈱（瀬山伸二・参事）

○ナカ・テクノメタル㈱（阿波一泰・代表取締役社長）

〈安全優良職長賞〉

呉光塗装㈱が施工した各現場において、卓越した技能と豊富な経験を発揮するとともに、高い安全意識をもって模範的な安全指導を実践し、現場の安全確保に貢献した。

鈴木・安衛協会員による「安全パトロール報告」

○坂入寛朗（日本ピソー㈱）＝R06セーラ小松川10号棟外壁修繕その他工事

○堀 光太（㈱リフォームジャパン）＝R06千葉NT原山3－8－1号棟他9棟外壁修繕その他工事

○木村友洋（㈱安藤建装）＝R06野菊野団地1号棟他2棟外壁修繕その他工事

○山﨑湧輝（來輝興業）＝フォルスコート松戸常盤平大規模修繕工事（第2回目）

○加瀬真次（㈲カセ防水工業）＝松戸市斎場外壁及び屋上防水改修工事

○鈴木晃二（㈱瀬谷塗装工業）＝千葉都市モノレールインフラ部塗替塗装工事（R7－1工区）

【「安全優良協力会社賞」での瀬山参事（日建リース工業㈱）による謝辞】

本日はこのような栄誉ある賞を頂戴し、大変ありがたく思う。

今後も品質とともに、安全を第一に努めながら、安全な職場をつくっていけるように社員一同、精進していきたい。

【「安全優良職長賞」での坂入氏（日本ピソー㈱）による謝辞】

風が強く難しい状況だったが、現場監督との工程などの打ち合わせを何度も行いながら現場を進め、無事故無災害で工事を完成することができた。